

つとむ まなぶ むすぶ

よろこび

2015年6月号 (No.5)

CONTENTS

- 2 平成27年度文化芸術事業
- 2 平成27年度市民カレッジ講座
- 3 地域活動支援員の配置 ほか
- 3 地域レポート・まちづくり探検隊
「もったいない市」
- 3 しみせん市民センのひろば
- 4 INTERVIEW ROOM・きらり★まちづくり
「かしま環境ネットワーク・伊奈和子さん」



かしま灘楽習塾「10周年記念事業・ふれあい交流会」



かしま灘楽習塾「月1きもの日和」



かしま灘楽習塾「月1きもの日和」



キッズ英語サークル



かしま灘楽習塾
「くらしを彩るガラスアートレッスン」



モンステラ会



かしま灘楽習塾「くらしを彩るガラスアートレッスン」



かしま灘楽習塾「初めてのハーモニカ」



ステンシル会

平成27年度文化芸術事業のお知らせ

市民の皆さんが、日頃の学習の成果を披露する場として、また鑑賞する場として、年3回の事業を開催する予定です。多くの皆さんの出展とご来場をお待ちしています。

	鹿嶋市美術展覧会	鹿嶋市芸術祭	文化フェスティバル (連盟の発表会)
部門	絵画／書／写真／工芸	絵画／書／写真／工芸／洋裁 編物／手芸／華道／ 和紙絵画(ちぎり絵)／自由創作	10 連盟 (美術／文藝／手芸／歴史文化／ 茶華道／着装／ダンス／ 歌謡曲愛好／舞踊／音楽)
日程	申込：6/2(火)～6/7(日)	申込：9/22(火)～9/27(日) ※予定	—
	開催：6/30(火)～7/5(日)	開催：10/20(火)～10/25(日)	開催：3/1(火)～3/13(日)
対象者	市内在住・在勤の方 及び鹿嶋市出身者	市内在住・在勤・在学の高校生以上 の方、または市内の社会教育施設 などを活動の場とする方	鹿嶋市文化協会会員
出展料	1,000円	無	料
会場	まちづくり市民センター体育館		まちづくり市民センター体育館 及び市民ギャラリー 鹿嶋勤労文化会館

※日程・内容等に変更が生じることがあります。

予めご了承ください。

詳細は確定次第「広報かしま」等にてご案内
します。

問合せ

まちづくり市民センター TEL: 83-1551

鹿嶋市文化協会事務局 TEL: 090-5528-6297

平成27年度 市民カレッジ講座

参加者募集

まちづくり市民センターでは、市民の誰もが生活スタイルに応じて自由に学び、楽しみ、一人ひとりが輝くために、日常生活に密着した学びの場を提供しています。

対象 市内在住・在勤・在学の方

募集人員 各講座20人(応募者多数の場合は抽選により決定)

申込方法 まちづくり市民センターにある申込書に、希望する講座名・住所・氏名・電話番号・年齢・性別を記入し、FAXまたは直接窓口で申込み
※申込書は、まちづくり市民センターのホームページからもダウンロードできます。

講座名	開催日時	受講料	申込締切
ちょきちょき剪定講座 (広報かしま6/1号募集記事掲載済)	6月26日(金) 9:30～16:00	1,000円	6/14(日)
筑波大学発 『おもしろふしぎ科学実験工作隊』	7月31日(金) 9:45～11:45	300円	7/12(日)
気をつけよう! 身近な消費者トラブル	9月18日(金) 13:30～15:00	無料	9/6(日)
歴史ウォーキング	10月16日(金) 時間未定	未定	10/4(日)
知っておこう! 後期高齢者医療制度	12月11日(金) 13:30～15:00	無料	11/29(日)

【問合せ】まちづくり市民センター TEL: 83-1551 FAX: 83-1553

まちづくりセンターに 地域活動支援員が配置されました

10年を経過した市民協働のまちづくりの成果と課題を踏まえ、住民主体のまちづくりをさらに推進するため、昨年度から市内まちづくりセンターに「地域活動支援員」(市職員)が配属されています。

地域活動支援員が配置されたのは、昨年度が豊津およびまなす地区、今年度が鹿島・高松・波野・大野地区で、まちづくり市民センターを含む計7つのまちづくりセンターです。

地域の皆さんからの相談や課題について、行政の必要な部署との連絡調整を行うなど課題解決に向けた橋渡し役を担うとともに、人と人、人と活動、人と地域を結ぶキーパーソンとして、住民主体のまちづくりの推進に努めます。まちづくりセンターにお越しの際には、気軽にお声かけください。

地域レポート



▲「もったいない市」の運営委員の皆さん

大野ふれあいセンターで開催される「もったいない市」は、「使わないもの」を「使いたい方」に無料で譲る機会を設けることで、少しでもごみを減らして地球温暖化防止に寄与しようと、大野公民館事業の環境セミナーの受講メンバーが中心となり約6年前に始まりました(現在は、大野公民館地区まちづくり委員会の地域活性活動として実施)。初めは不定期の開催でしたが、3年ほど前からは月1回の開催となり、第3土曜日の恒例のイベントとなっています。

「お客さんもだいぶ増え定着してきたと感じます。出品者の約4割はリピーターなんです。」と話すのは、開始時からのメンバーで、現在代表を務める中島宣夫さん。自由に来場でき、出品も当日会場で受付して気軽に参加できることも人気を呼んでいます。

5月の第3土曜日は、朝からあいにくの雨模様のため大野ふれあいセンターのロビーでの開催となりましたが、悪天候にもかかわらず、開始時間前から行列ができるほどの盛況ぶりで、館内は多くの人でにぎわっていました。



▲衣類のほか食器や書籍などが多数並びます



▲集まった募金は残った品物を海外への支援物資とする郵送代に使用されます

利用します!!

市民センのひろば



おおうえ 大上 信子さん (荒野)

社交ダンスの練習で週に2回利用しています。なかなか上手に踊れませんが、健康で楽しく踊れば最高です。



上田 豊さん (和)

「よさこい」で知られている四国・高知が源流の居合道の稽古に真剣に取り組んでいます。



吉田 絹子さん (高天原)

笑顔を忘れずケイキさんたちを交えて楽しくフラダンスの練習をしています。一度皆さん見学にきてください。

※ハワイ語で子ども

防災用井戸が設置されました

まちづくり市民センターの敷地内に防災用の井戸(電動式)が設置されました。停電時には、発電機に接続して使用が可能です。



市ではまちづくり市民センターのほか、地区まちづくりセンター等にも順次、防災用井戸の整備を進めています。

かしま環境ネットワーク

伊 奈 和 子 さん

(港ヶ丘)



▲完成した「かしま環境カルタ」。読み札には採用された方の氏名が掲載されています

ご当地カルタで環境の大切さを伝えたい

設立10周年を迎える かしま環境ネットワーク

「かしま環境ネットワーク」が、まちづくり市民センターにエコ広場を開設して今年で10年目を迎えました。環境問題に関心がある個人・市民団体・事業者が加盟し、運営委員がリーダーとなって行うプロジェクト活動や環境団体の支援、PR活動などを行っています。プロジェクト活動では、鉢形の九反田池再生や鹿嶋の海岸を守る会、かしまミツバチプロジェクトなど、わずかではありませんが、活動が実を結び、独立したプロジェクトもあります。

身近な環境や伝承から 環境カルタを製作

一昨年の「アースデイかしま」の会場で、つくば市の高校生が製作した環境カルタを使ってカルタ会を行いました。企画としては良かったのですが、ほかの地域のカルタでは、何となく盛り上がり欠けるような感じがしました。そこで、昨年度は環境ネットワークの事業として、鹿嶋の身近な環境や伝承などを盛り込んだ、いわゆるご当地の環境カルタの製作に取り組むことになりました。製作にあたっては、「かしま環境カルタ」製作委員会を組織し、せっかく作るんだったら、広く募集し、みんなに応募してもらえば関心もそれだけ高まるのではと、市内小・中学校や公共施設に応募箱を置かせてい

ただき、読み札を募集しました。中には箱に入りきれないほどの応募があった学校もあり、約1,400もの作品が集まりました。

1,400点の応募作品から 読み札を決定

約1,400作品の中から45文字を選ぶわけですが、水の問題、省エネ、節電、ごみなど、環境といってもテーマはたくさんあるので、できるだけ分野が偏らないように選ぶのは結構大変な作業でした。例えば、「ごみ」「北浦」など特定の文字にたくさん集まっても、1点のみを選ぶしかならないため、良い作品でも採用できなかったものがたくさんあります。コンクール形式にしていれば、採用にはならなくても入賞作品として表彰することで感謝の気持ちを表せたのではないかと、今でもそれがとても心残りです。

絵札のコンセプトは「家族」です。それから、やはり塚原ト伝は鹿嶋の重要人物ですから外すわけにはいき



▲「かしま環境カルタ」製作委員会・狩谷順二会長から錦織市長にカルタを贈呈。教育委員会を通して市内小・中学校や公民館等に配布されます(写真右端が伊奈和子さん)



▲4月18日、かしま環境カルタの完成記念式でお披露目のカルタ会を開催

ません。鹿嶋市のゆるキャラ「ぼくでん」の特徴でもある丸い鼻の子どもぼくでんくんもあちこちに登場しています。ぜひそのあたりにも注目してほしいです。

生まれ育ったまちに 帰りたいと思える鹿嶋に

若いときは、環境について考える余裕もありませんでしたが、子育てがひと段落して思うことは、やはり子どもたちが生まれ育つふるさとに帰りたいと思えるような鹿嶋であってほしいということ。環境カルタで遊びながら子どもたちが環境への関心を持つきっかけとなり、環境の大切さを少しでも伝えていくお手伝いできればいいなあと思っています。ごみを捨てる時、北浦や海辺に行ったときなどいろいろな場面で、環境カルタにこういう言葉があったなあ、1つでも2つでも思い出してくれるといいですね。

<PROFILE>

■いな・かずこ

かしま環境ネットワーク・副会長。「かしま環境カルタ」製作委員会の事務局として製作に携わる。エコキャップ回収活動の立ち上げも担当。北九州市出身。70歳。

※現在、エコキャップ回収活動は(公社)かしま青年会議所へと引き継がれています。